



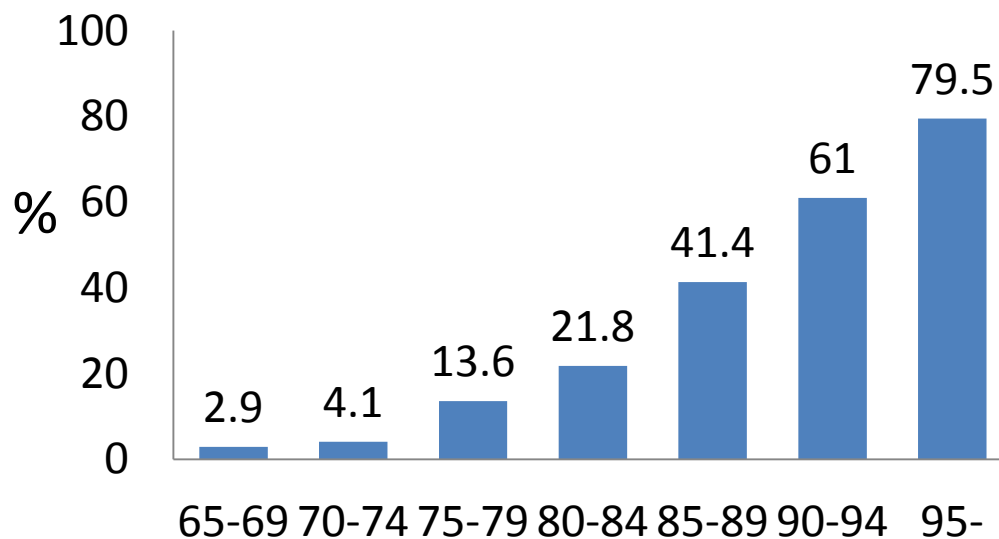
認知症の経過、特徴と必要な支援 ～高齢者との安定した契約を目指して～



2018年12月10日
京都府
異業種連携による
“認知症にやさしい”サービスのあり方検討・実践
第1回キックオフミーティング

京都府立医科大学大学院医学研究科
精神機能病態学
成本 迅

- 認知症患者数 462万人
- 軽度認知障害 400万人



2010年の一人暮らし世帯は全体の30%を超えており、2035年には38%と予測されている。
(国立社会保障・人口問題研究所)

厚生労働科学研究費補助金(認知症対策総合研究事業)
総合研究報告書「都市部における認知症有病率と認知症の生活機能障害への対応」(代表:朝田隆)2012年

認知症の原因となる病気

脳が痩せる 病気

- アルツハイマー型認知症
- レビー小体型認知症

脳卒中の 後遺症

- 血管性認知症

その他

- 脳腫瘍・正常圧水頭症
- アルコール・薬剤性

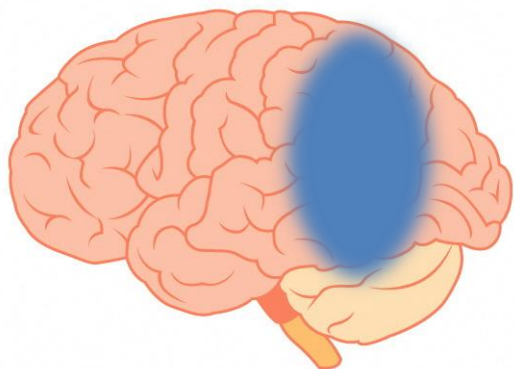
主な病気

1. アルツハイマー型認知症 (>50%)
2. 血管性認知症 (20%)
3. レビー小体型認知症 (5-10%)



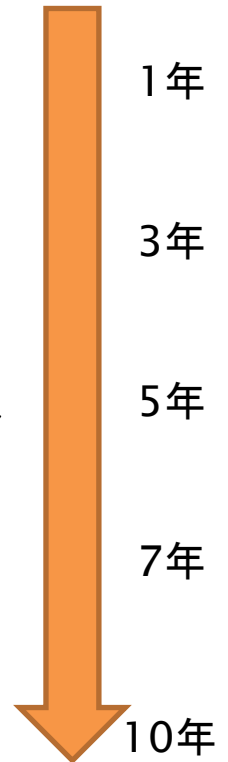
アルツハイマー型認知症

- 老人斑、神経原線維変化
- 海馬、側頭葉、頭頂葉の機能低下、萎縮
- 認知機能、日常生活機能が年単位でゆっくりと低下



アルツハイマー型認知症の症状と経過

- 発症前期
 - うつ、軽いものの忘れ
- 初期
 - もの忘れ、日付を忘れる
- 中期
 - 言葉が出ない、服が着れない、トイレの失敗
 - 歩行障害、筋肉が硬くなって動かすににくい
 - 今いる場所や親しい人を思い出せない
- 後期
 - 言葉が出ない
 - ねたきり



典型的な経過

- 発症時76歳 女性
 - メモをとる習慣があったが、メモを置き忘れるようになった
 - 地下鉄に乗ると場所がわからなくなり迷子になった
 - 抗認知症薬服用開始
- 79歳時
 - 生活に介助を要するようになり娘と同居を始める
 - デイサービスとホームヘルパー利用開始
- 82歳時
 - 娘が家に帰ると机で泣いているようになった
 - 抗うつ薬の投与で改善

- 83歳時
 - トイレを失敗するようになった。
 - 転倒して大腿骨を骨折し入院。退院後はぼんやりと無気力な様子となった。
 - 日中一人でいるときに何度か家を出て外で見つかることがあった。
 - ショートステイ利用開始
- 84歳時
 - かぜをひいたのをきっかけに、昼と夜が逆転して夜間興奮して家を飛び出そうとすることがあった。

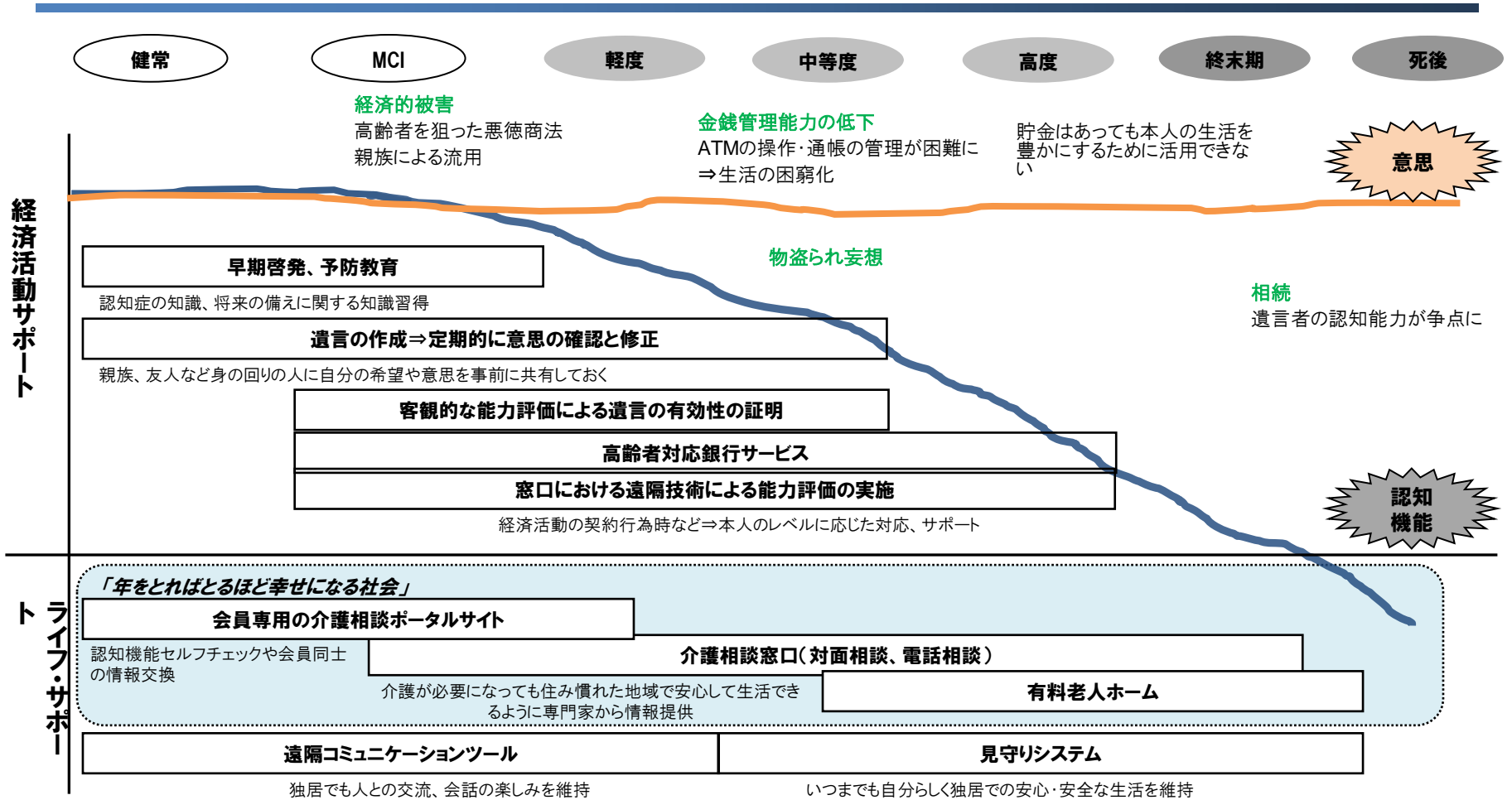
15_ペルソナシート

名前	山本京子	家族構成	夫と死別してから独居 息子が京都市内に居住	ビジュアルイメージ
性別	女性	居住地	京丹後市	
年齢	75	趣味	華道、ゲートボール	
職業	無職(元会社員)	休日の 過ごし方	近くの友人の家に行ってお しゃべりする、畑の手入れ、 買い物	
収入	年金(月8万円)、貯蓄(2000 万円)、持ち家、生命保険とお 葬式のための積立をしてい る。	好きな雑誌 やメディア	テレビ(NHK)、通販雑 誌	
担当している 主な業務	年金を月1回タクシーで郵便局へ行って下ろす。 そのままスーパーを回って重い買い物をする。 普段は生協の宅配を利用している。畑の苗は通 販で買っている。スマホを使ってラインで友達や 息子、孫とやり取りをしている。	チャレンジ していること	ライン以外のスマホアプリを使うこと。パソコンで ブログを書くこと。	
悩んで いること	最近物忘れが増えていて、同じものを何度も発 注してしまう。姑が認知症で長年介護したので、 自分が認知症になると息子に迷惑がかかるの ではと心配している。	検索(連想) している キーワード	終活、遺言、エンディングノート 健康長寿 氷川きよし	

17_カスタマージャーニーマップ

タッチポイント				
行動				
心理状況				
ニーズ				

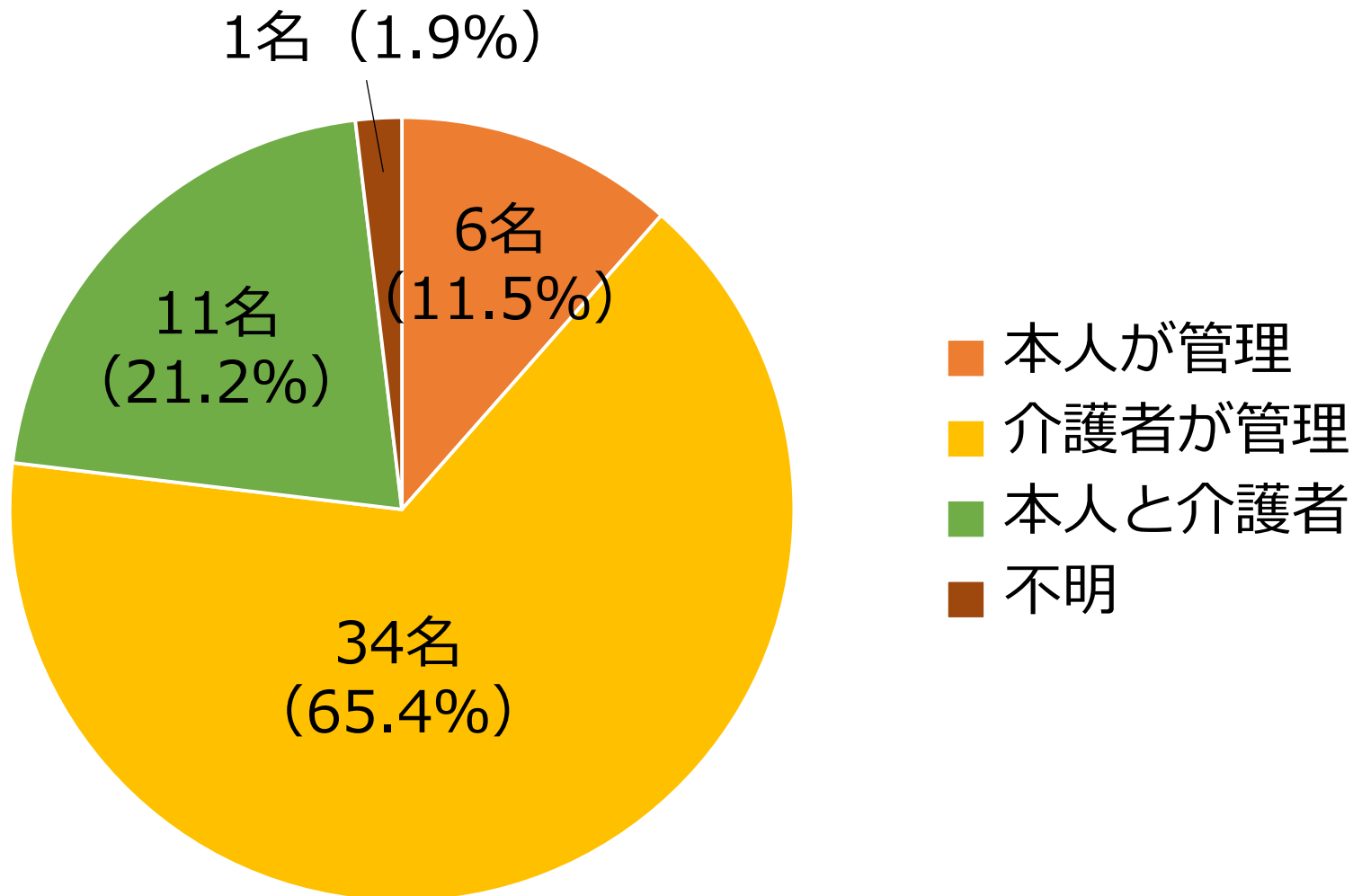
高齢者の人生経過図



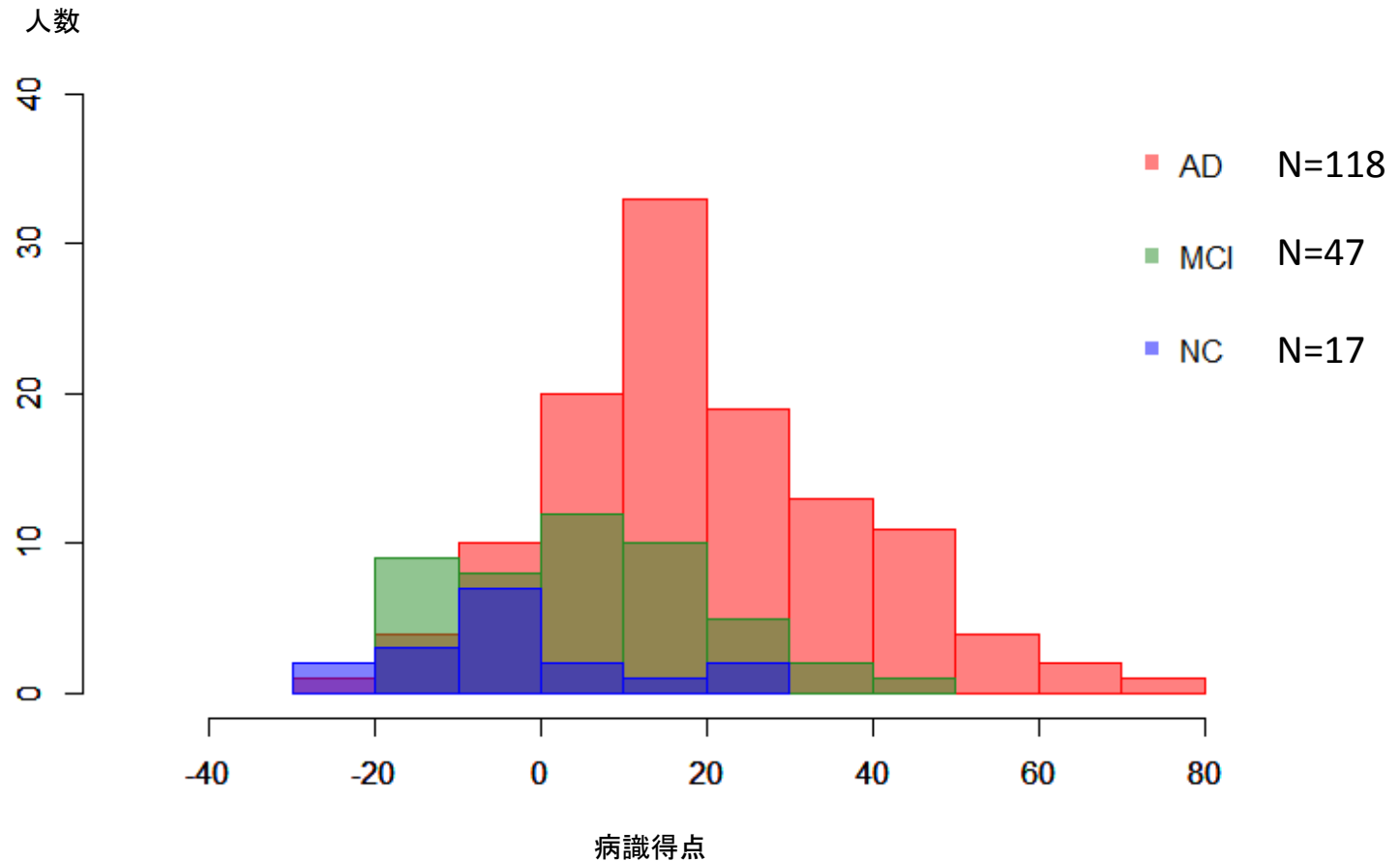
能力低下の程度に応じて意思決定が支援され、その人のためにお金を使える仕組み作りを目指す



誰が本人の預金を管理している？



病識の得点分布(自施設)



記憶に関する本人評価と介護者評価の差(得点が高いほど病識がない)



Collaboration center of Law,
Technology and Medicine
for autonomy of older adults

<http://coltem.com/>

認知症の人と創る未来社会システム

弘前大学

真の社会イノベーションを実現する革新的「健やか力」創造拠点サテライト



今の夢。10年後の常識。
新しい未来を作りたい。

科学技術振興機構 (JST)

センターオブイノベーションプログラム (COI)

京丹後地域



高齢者の意思決定サポート
モデル地域

意思決定サポートセンター

実践・実証の場

プロジェクトリーダー

ベネッセスタイルケア

研究リーダー

京都府立医科大学

同志社女子大学
現代社会学部

認知症の人と家族の会京都府支部、京丹後市、京都府
医師会、京都地域包括ケア推進機構、京都府丹後保
健所、北丹医師会、与謝医師会、京都社会福祉士会

三井住友信託銀行
京都銀行
みずほ情報総研

認知症の人にやさ
しい金融機関

志学館大学
人間関係学部

シスコシステムズ
IIGグローバルソリューションズ

遠隔評価

徳島大学工学部

慶應義塾大学医学部

高齢者意思決定の特徴と支援

大日本印刷

意思決定サポート
コミュニケーションロボット

大日本印刷

公立はこだて未来大学

京都府立大学

慶應義塾大学工学部

アールエフネットワーク
三昌商事
村田製作所 住友電工
住友林業 セコム

アシティブテクノロジー
介護支援

中央大学法学部

意思決定サポートシステム

9大学、14企業、1自治体、4団体、2機関

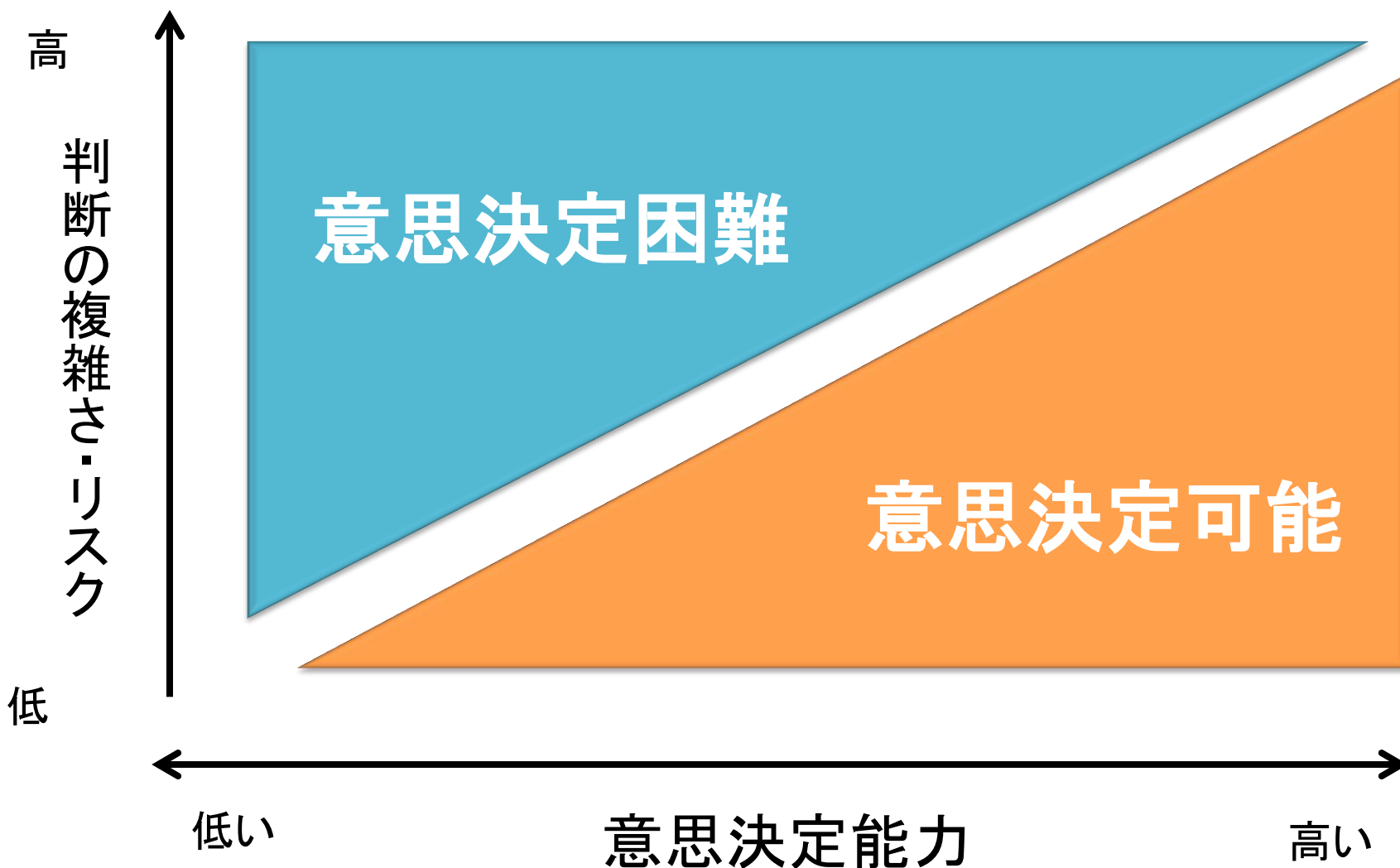
2013年よりJSTの助成を受け活動開始

医療行為を決めるためには

1. 医療行為に対する十分な説明（情報開示）
2. 説明を理解し、納得する（医療同意能力）
3. 自由な意思による同意（自発性）

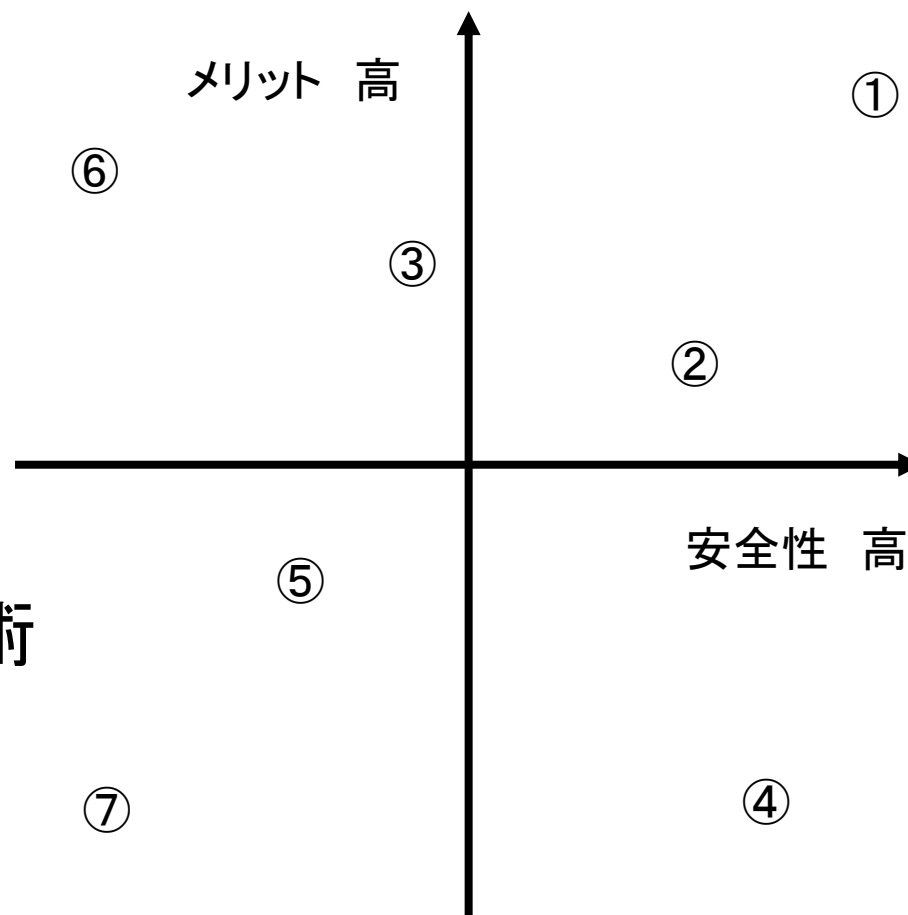
- 情報開示の方法が患者の理解度に影響を与える
- 情報を的確に伝えられ、理解度が高い患者は満足度が高く、治療にも協力的
⇒患者がどの程度正しく理解しているか確認することが重要

「判断の複雑さ・リスク」と「意思決定能力」



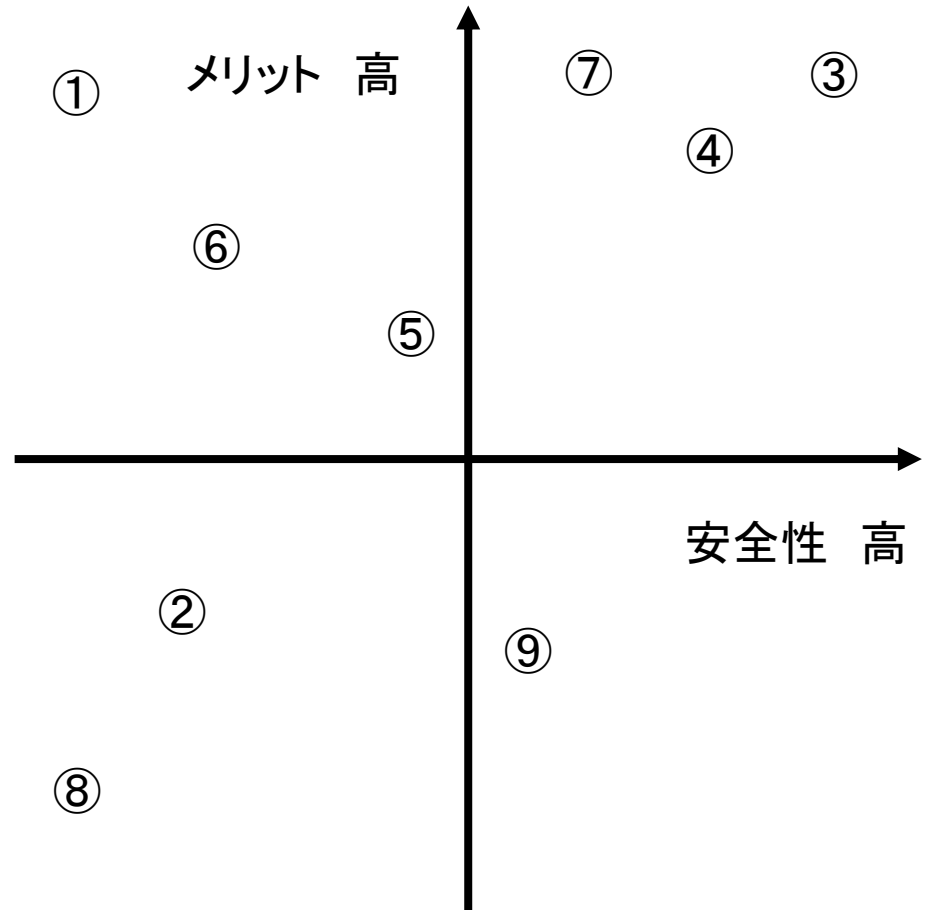
治療内容によるグラデーション

- ① 予防接種
- ② 内服治療
- ③ 抗生剤点滴
- ④ 内視鏡検査
- ⑤ 抗がん剤治療
- ⑥ 大腿骨頸部骨折手術
- ⑦ 大腸がん手術



意思決定の分類

- 成年後見制度における財産管理能力
 - ①通帳の管理
 - ②不動産の売買
 - ③遺産を受け取る
 - ④買い物、公共料金支払いなどの日常の金銭管理
- 契約能力
 - ⑤任意後見契約
 - ⑥不動産の賃貸契約
 - ⑦介護サービス契約
 - ⑧金融商品の契約
 - ⑨遺言能力



医療同意能力評価と意思決定支援 ベストプラクティス

1. 本人に丁寧に治療内容を説明する
2. 説明にあたっては患者が安心できる環境を準備する
3. 他の人に相談したり、記憶力低下を補えるよう説明内容のハンドアウトを準備する
4. 医療同意能力を低下させる要因がないか確認し、あれば治療したり補ったりする
5. 同意能力評価にあたっては患者自身の言葉で治療内容を説明してもらう
6. 本人の同意が有効かどうかの判定には治療内容の複雑さやリスクも考慮する
7. 本人の価値観や好みを吟味した上で、医療者として推奨する治療を提案する
8. 地域での支援者を含む多職種から本人の希望に関する情報を集める
9. 家族の意思決定を支援するにあたり、家族関係に注目する
10. 治療開始後も柔軟に軌道修正する



[もくじ]

認知症の理解(医学的見地から)

- 主な認知症ごとの特徴
- 地域連携、多職種連携の必要性

知っておくべき基本知識

- 高齢者とのコミュニケーションのとり方
- 高齢者との信頼関係の築き方
- 意思決定能力とは
- 金融機関における認知症気づきのポイント
- 金融機関と公的支援窓口との連携

今すぐ活かせる！ ケース・スタディ

- 「通帳や印鑑を繰り返しなくす」
- 「経済的虐待」
- 「詐欺被害」

金融機関の困りごと〔対面編〕

- 来店目的不明で長時間銀行に居続けるケース
- 何度もかけてくる電話への対応
- 預金を盗られたという訴えへの対応
- 本人の認知機能が変動しているケース
- 決められない本人に代わって、家族が預金解約を希望するケース
- 本人が成年後見制度の利用を拒否するケース
- 家族間の意見の対立があり、本人が特定の家族の言いなりになっているケース

金融機関の困りごと〔訪問編〕

- 長くお付き合いのある顧客宅を訪問したら、以前と様子が違うケース
- 長くお付き合いのある顧客が保険料を滞納するケース
- 長くお付き合いのある顧客が、最近、自動車事故を頻繁に起こすケース

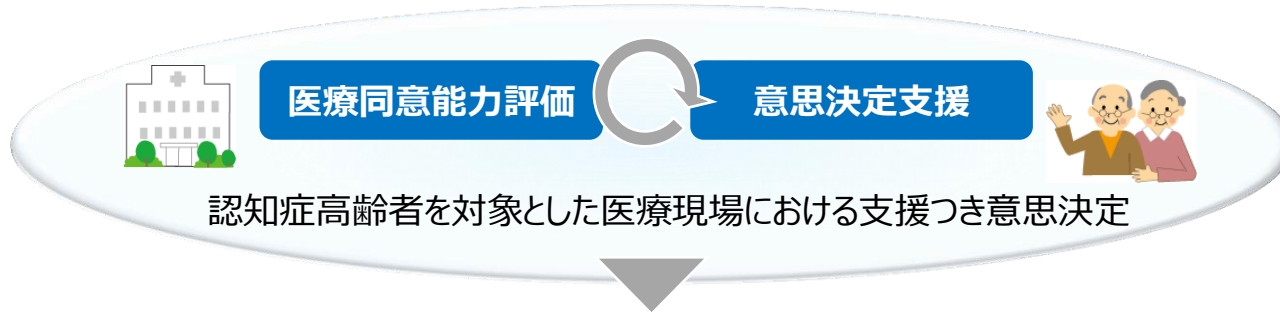
金融機関が準備できること

- リスク性商品の売買を行う場合
- 金融機関の組織的な対応方針について

公平な契約と意思決定サポートのために

1. 本人に丁寧に安心できる環境で契約内容を説明する
2. 他の人に相談したり、記憶力低下を補えるよう説明内容の資料を準備する
3. 契約能力確認にあたっては本人自身の言葉で契約内容を説明してもらい記録する
4. 契約能力の確認手順設定にあたっては契約内容の複雑さやリスクも考慮する
5. 高価な商品や損害のリスクがある場合は、複数で本人の理解や意向を確認する
6. 契約のプロセスが1～5の要件を満たしているかを確認する仕組みがある

一般社団法人日本意思決定支援推進機構 (意思決定能力評価・サポートセンター)



日本意思決定支援推進機構

【権利擁護と適切な意思決定支援のための研究開発及びサービス提供の継続的推進】

- 他分野への応用展開
- 意思決定支援のための技術開発と普及啓発

民間事業者 (金融機関、小売)

- 金融商品・保険
- サービス契約

法律 (弁護士・司法書士)

- 遺言作成
- 成年後見制度利用

介護福祉 (ケアマネジャー・介護士)

- 介護サービス契約
- 施設入所

医療 (病院・製薬会社)

- 医療同意
- 治験プロトコル

京都府からの委託事業として今年
度4回の研修を実施
金融機関対象 2回
医療福祉関係者対象 1回
弁護士、司法書士等対象 1回

INFO

2018

意思決定支援 研修会情報

● 詳細はこちらから

10/2

金融機関向け

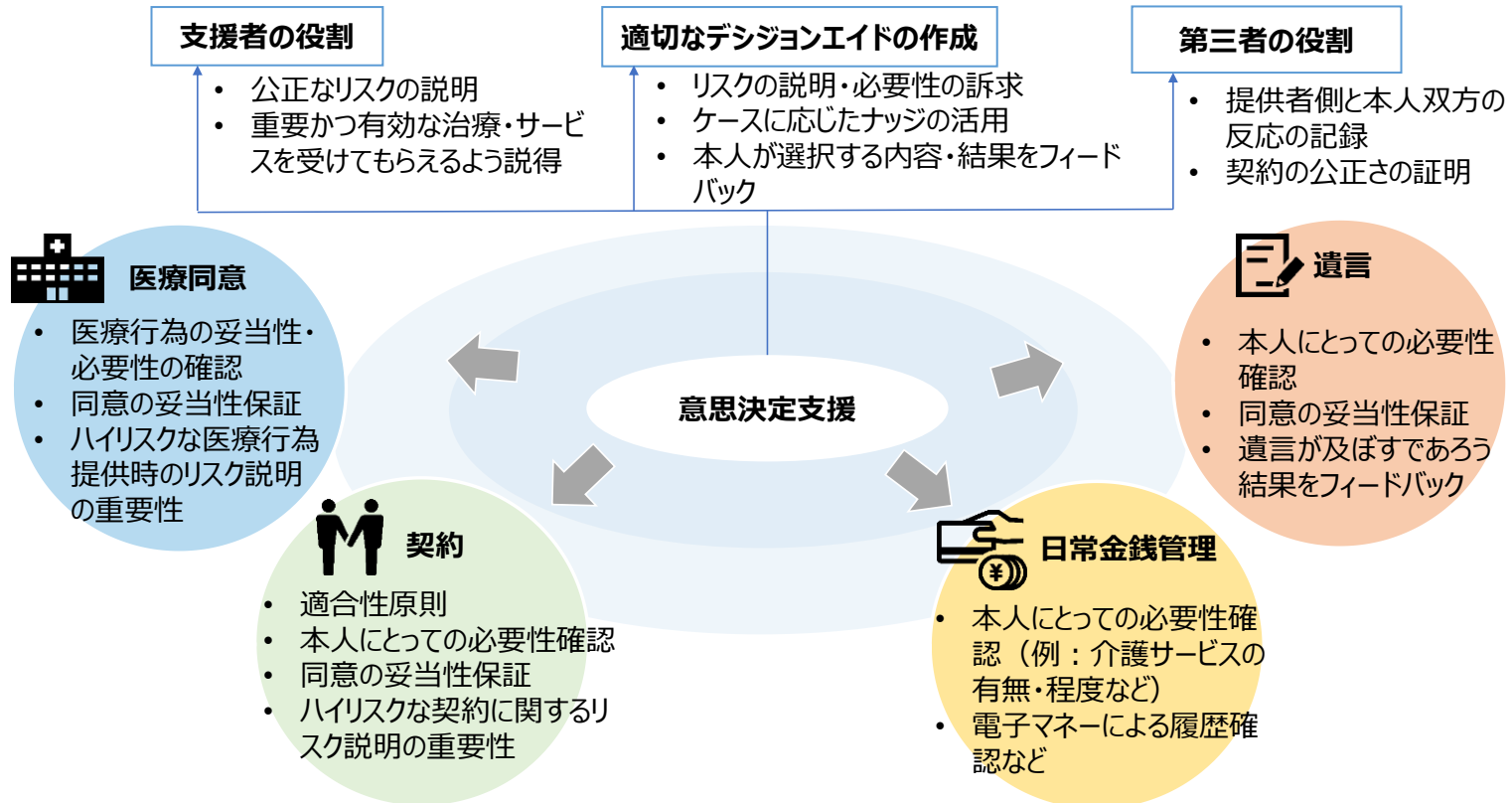
13:30-15:30
in 京都府・福知山

11/10

医療・福祉 関係者向け

13:20-17:20
in 京都市・稲盛記念館

一般社団法人「日本意思決定支援推進機構」業務概要図



意思決定サポートシステム構想

	意思決定サポートシステム	成年後見制度
対象	地域	全国
根拠・手続	民法及び民法特別法 要綱、条例 ガイドライン、マニュアル	民法及び民法特別法 家庭裁判所の審判(法定後見) 契約(任意後見)
支援	日常生活での意思決定 意思決定支援 地域の連携 例)日常生活自立支援事業	法律行為 代理権、同意権、取消権 成年後見人等、指定された者
家族	家族の意向・関与を尊重	家族は成年後見人等の候補者
判断能力	生活能力 意思疎通能力	意思能力 事理弁識能力
能力判定	財産管理、日常生活能力 対面と遠隔、ICT利用	財産管理 医師の鑑定・診断
支援時期	健康時から死亡まで 予防、事前・事後の支援	判断能力低下の判定後 事後の支援
医療契約	患者と医師の協働関係	双務契約、対向関係
医療同意	患者の意思 第三者の関与	患者の意思 成年後見人等に権限なし
個人情報	支援者間の共有 プライバシー保護	原則として本人の同意 プライバシー保護
公と私	公私協働における民法	私法としての民法
制度像	弾力性、柔軟性、個別性	堅実性、厳格性、統一性

認知症の人も生活
できる街づくり

迷っても安心
外出を楽しめる

認知症に気づいて
さりげなくサポート

交通
機関

不動産

自分に合った物件
を借りられる

飲食店

認知症になっても
利用できる

生活に必要な
お金をおろすことが
できる。詐欺や虐待か
ら守ってくれる。

金融機関

行政

認知症になっても利用
でき、必要な
行政サービスを利用
できる

必要な介護
サービスを利用
できる

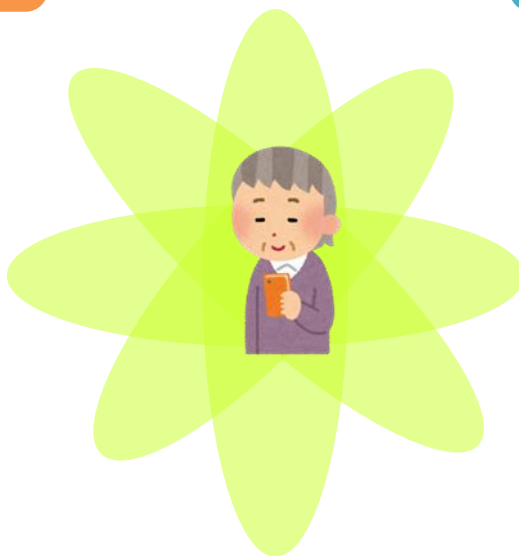
福祉

コンビニ・
スーパー

安心して買い
物ができる

医療

必要な医療が
受けられる



高齢者、認知症の人への対応レベルの底上げ、関係機関との連携促進

BANK

金融ガイドを用いた
行員研修

高齢者、認知機能障害のある人が
利用しやすい銀行

能力評価サービス

遺言時評価
契約時評価

認知機能が低下しても、本人のレベルに応じた契約が可能に

遠隔評価

迅速かつ、その場での客観的評価が可能

認知症になっても、自分の意思を周りに伝えられる

アバターによる意思の保存と提供

アシスティブテクノロジーによる
意思決定サポート

事前指示



遺言

コミュニケーションロボット

フィンテックの利用

後見業務の効率化と透明性の確保